

# 読後のスイーツ

お楽しみはこれでした

推薦人

五十嵐かほるさん

イメーシヨソサルタント

フードアナリスト 10月に設立された「パーソナル・スタイリス ト・イン・ジャパン」の代表理事を務める。ホテルや店舗等のブランディングプロデューサーやイメーシヨソサルティング、執筆、講演活動を行う。著書に『あなたの魅力を限界まで引き出す技術』（アスカ出版）等。

懐かしく優しいスイーツ  
と理想の女性像と重なる  
華やかなシャンパーニュで  
毒ある本を堪能する

オザワ洋菓子店「苺シャンデ」



「ロゼ」2002  
「シャンパーニュ」

文京区本郷にある、創業40年の街の洋菓子屋さん。「すべて自家製で」を信条として日々作られる洋生菓子や焼き菓子を目当てに、街の人々だけでなく、遠方からもファンが訪れます。一番人気なのがこの「苺シャンデ」。サクサクのクッキーの上に苺が丸ごとのせられ、そのてっぺんに帽子のようにふんわりと生クリーム（シャンデ）が。さらに全体をチョコレオットでコーティングした、一見すると茶色いキノコのような可愛らしいお菓子です。さまざまな甘さと食感が楽しめます。「苺シャンデ」大¥200、小¥170 ●問い合わせ/オザワ洋菓子店 ☎03(3815)9554

職業柄、そして食べ歩き好きとして、たくさんの美味しいものをいただきますが、自宅でほっと一息つく時間はマスコミにあまり取り上げられていない、素朴な味……懐かしくて優しい味に癒やされます。街の小さな洋菓子店の「苺シャンデ」がまさにそんなスイーツ。合わせるのはとびきり華やかなシャンパーニュのロゼ。華やかだけどころかとした本物の存在感です。これって私の理想の女性像ですね。講演やセミナー、執筆も行っているの、話に膨らみが出るよう、面白そう！と感じたあらゆるジャンルの本を斜め読み。『ホモセクシャルの世界史』は古代ギリシャから現代までのさまざまな偉人が登場。歴史の舞台裏を見るようで面白い。『怖い絵』はいわば「毒」のある本。絵のモチーフに潜む真実が暴かれ、芸術家がそれに惹かれる理由も見えてきます。『幻の特装本』は読み出したら止まらないほど面白い！お勧めです。今の気分は芸術、歴史、そして毒、かしら。

シャンパーニュ・テタンジェは1734年創立のフルノー社をその起源としています。現在では数少ない家族経営の生産者としても知られています。テタンジェのスーパー・プレステージュである、コント・ド・シャンパーニュ。天候に恵まれた特別な収穫年にのみ作られるのが、琥珀がかったバラ色が美しいコント・ド・シャンパーニュ ロゼです。この特徴的なボトルは、フランス革命以前に使われていた、シャンパーニュ地方で最も古い形。13世紀に造られたサン・ニケーズ修道院のカーヴで熟成されます。テタンジェ コント・ド・シャンパーニュ ロゼ 2002 ¥52,500(税込み) ●問い合わせ/日本リカ ☎03(3453)2208

